

「学び合い 高め合い 認め合い 夢と希望を育む小鹿野小学校」

学 校 だ よ り

学校教育目標 ○仲良く力を合わせる子 ○明るく元気な子 ○進んで学習する子
小鹿野町立小鹿野小学校 第9号 平成29年12月1日発行

☆4月～12月、このような成果がありました☆

校長 矢 嶋 泰

校庭のケヤキの葉が色づいたと思ったら、今年はすぐに落ち葉となり、早くも1年の終わりの12月を迎えました。

11月は、彩の国教育週間での学校公開、校内音楽会・音楽鑑賞会に始まり、校内持久走記録会、低学年の授業参観と数多く児童の活動の参観、応援を保護者の皆様にいただきました。

当然、こうした活動では、教職員がお子様の活動について、励ましや認めまでを含めて指導として行わせてもらっています。

子どもにとって保護者の皆様や先生や友だち等、多くの人に自分の活動を見て、認めてもらうことは大きな喜びや次の学習意欲につながっていきます。12月もこうした教育活動を継続させて参ります。

さて、4～12月と8か月たち、校長として多くの子どもたちの成果を感じています。その中でいくつかの成果をお知らせしたいと思います。

- 大きく、明るい声であいさつできる子が増えました。
- 明るい表情で学校生活ができる子が多くなりました。
- 授業の発表で、きちんと自分の考えを説明できる子が増えてきました。
- 返事・かけ声など、しっかりとした声が出せる子が増えました。
- きちんと家庭学習に取り組める子が増えてきました。
- 埼玉県の学力・学習状況調査で昨年度より力を伸ばした子が多くいました。
- 文化的・体育的行事で自分の力を出し切ろうと意識する子が増えてきました。
- 下級生や同じ学年の友だちに対して優しい行動ができる子が増えてきました。

これらの成果を子どもたちと共有すると共に、まだ、発展途上、さらに向上させなくてはいけない部分、解決しなければならない課題について取り組んでいきたいと考えます。当然、できていることができなくなるということが起こらないようにもしていかななくてはなりません。

この考えのもと、2学期のまとめとなる12月の学習や活動に全ての児童が一層意欲を持って取り組み、満足感や充実感を感じ、さらには成果を上げて冬休みを迎えられますよう、ご協力をお願いいたします。